

経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県 宝塚市

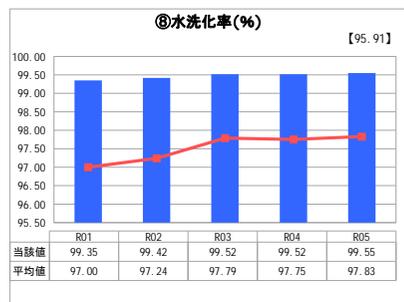
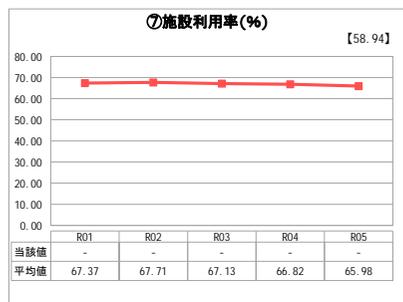
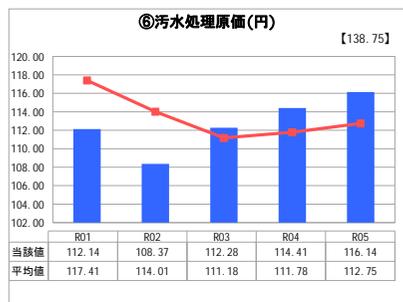
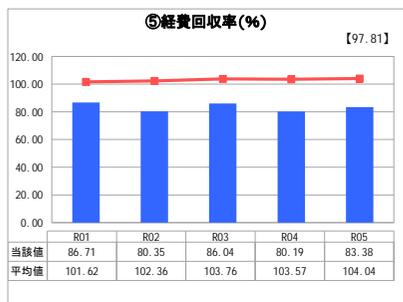
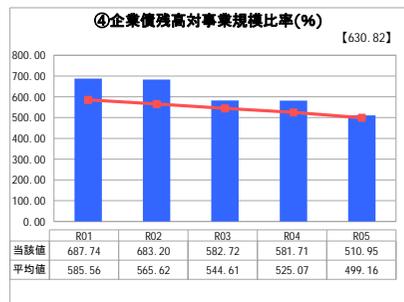
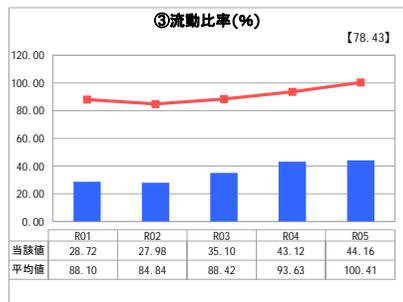
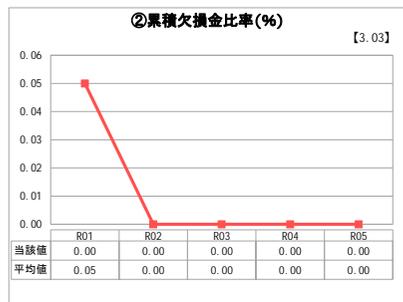
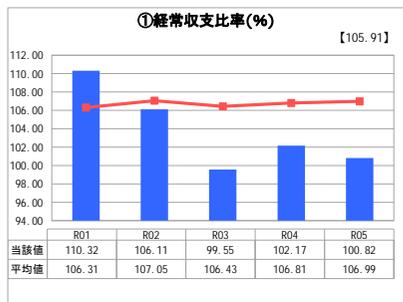
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ab	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	76.05	98.92	85.13	1,848

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
228,934	101.80	2,248.86
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
225,802	24.74	9,127.00

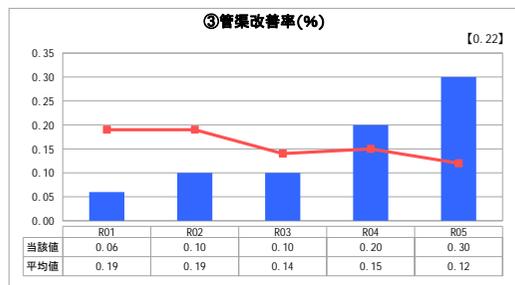
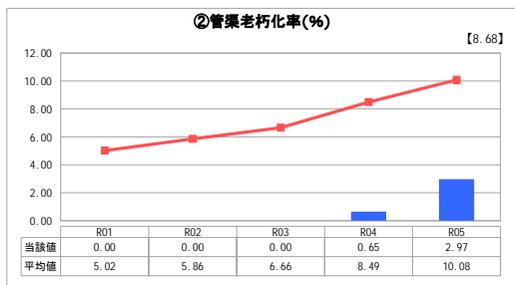
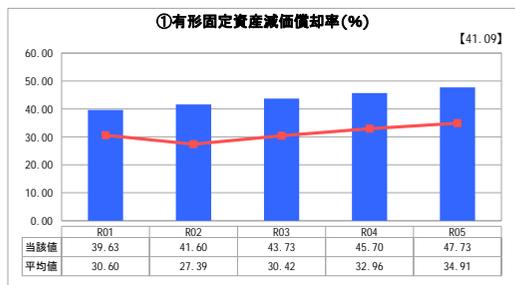
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、前年度より1.35ポイント減少し100.82%とかわろうじて100%を超えているものの、使用料の減少や設備の修繕費の増加などで経営を圧迫しています。また類似団体の水準を下回っています。

② 流動比率も前年度から1.04ポイント改善していますが、水道事業からの借入により手許資金が増加したことによるもので、類似団体と比較しても支払能力を高めるための経営改善が必要です。

③ 企業債残高対事業規模比率は、企業債の償還が進んだことで前年度に比べ70.76ポイント改善し510.95%となり、類似団体の水準に近づいてきています。

④ 経費回収率は、前年度使用料の減免を行ったこともあり、3.19ポイント改善し83.38%と改善しましたが、類似団体に比べ大きく乖離し100%にも達していません。

⑤ 汚水処理原価については、企業債の償還により資本費部分は減少しているものの、燃料費高騰などの影響により、流域下水道維持管理費負担金が増加したことなどから、前年度より1.73円悪化し116.14円となり、類似団体と比べても高い水準となっています。

⑥ 水洗化率については、前年度に比べ0.03ポイントの改善し99.55%となり、類似団体より高い水準となっています。今後は100%に近づけるため、水洗化の啓発に継続的に取り組んでいます。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は上昇傾向にありますが、② 管渠老朽化率は類似団体の水準を下回っています。これは昭和50年代に整備した下水道管が多いことが要因であり、前年度に比べ2.32ポイント上昇していますが、今後10年程度は老朽化が問題になることはないと考えています。しかしながら徐々に法定耐用年数を超えた管が増えることから、ストックマネジメント計画に基づく管渠の改善に努めており、③ 管渠改善率については、前年度から0.1ポイント増で前年度に引き続き類似団体の水準を上回っています。

全体総括

企業債の償還が進み、資金的に厳しい状況は改善していく予定ですが、本市は自前の下水道処理施設を有しておらず、近年の電気料金等の高騰や施設の老朽化など、流域下水道維持管理費負担金の増加に対応していく必要があります。市独自の経営努力だけで指標を改善していくことが難しい部分もあります。また水洗化人口の減少や節水機器の普及による下水道使用料の減少が続いており、このまま続く健全な経営を行うことは困難となります。

今後他県や流域下水道構成市との情報共有を十分に行いながら、管渠の老朽化が本格化する前に経営指標の改善に取組み、経営基盤の強化に向け、事業の実施・進捗管理に努めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。